

2020年8月30日

「地域普及小委員会」から 「統括支部活動推進委員会」へ

普及委員会 委員長 中村禮子

これまで皆さまと知恵を絞りながら、体験者 10 万人活動を進めて参りました。しかし、思いがけないコロナの影響で、体験会はもとより、初心者講習会も行うことができず、今後どのように挽回していけばよいのか、皆さまお悩みのことと思います。S 協では、まず現在の活動状況の実態調査を行いたいと思います。そして、それを把握しながらウィズコロナの中で、普及活動をどのように推進していけるか、皆さまと心を一つにして探っていきたいと思っています。

さて、今年度から普及促進のための、委員会体制が変更になりました。これまでの「地域普及小委員会」の活動は「統括支部活動推進委員会」にバトンタッチされます。

「愛好者の高齢化対応への調査」で現状を把握しながら、体験会・体験教室の推進、体験会を開くための実施マニュアルの作成、体験会に使用できるチラシコンテスト、コーラー不在でも体験会が開催できる普及サポーターの育成のマニュアル、そして技術委員会と協力しての体験プログラムの作成、普及を進めるための情報提供が進められました。これらはみな、S 協ホームページの情報コーナー・や調査報告から入手できますので、是非ご活用ください。

今後は地域での実践活動が大事になってきます。一つでもふたつでも、できることからとにかく実践です。地域が協力し、統括支部が支援しながらの普及活動の推進になってきます。そのためには各統括支部が地域の実態を細部まで把握しながら、普及のために何が必要とされているのか、支部としては何を援助していけば良いのか探っていく委員会になります。統括支部同士の情報交換、アドバイスの交換が大事になってきます。

この数年は、スクエアダンスにとってこれまでに無い危機的な状況になります。会員が英知を出し合い、情報交換を行い、前向きな普及活動が求められる時代です。協力しながら、ともに乗り越えていきましょう。